本文

第127号

官報

第百貳拾七號　明治十六年十一月二十九日　木曜日

太政官文書局

○敍任

○明治十六年九月廿七日
任會計一等軍吏　會計二等軍吏從七位勲六等　高坂靜好

○明治十六年十月廿四日
任步兵少尉　池谷幸通
任步兵少尉　勲七等　江口滿重
任步兵少尉　瀧山直藏
任步兵少尉　堤　董
任步兵少尉　勲八等　木造　昶
任砲兵少尉　內田寒水
任砲兵少尉　酒井五六

○明治十六年十月卅一日
任三等軍醫　里見美一郎

○明治十六年十一月二日
任海軍少尉　海軍少尉補　大西唐行
任海軍少尉　海軍少尉補　矢部功正
任海軍少尉　海軍少尉補正八位　堀龍太
任海軍少尉　海軍少尉補　花田滿之助
任海軍少尉　海軍少尉補　加藤友三郎
任海軍少尉　海軍少尉補　吉松茂太郎
任海軍少尉　海軍少尉補　成田勝郎
任海軍少尉　海軍少尉補　佐々木廣勝
任海軍少尉　海軍少尉補　藤井較一
任海軍少尉　海軍少尉補　福井正義
任海軍少尉　海軍少尉補　中江員可
任海軍少尉　海軍少尉補　田口三平
任海軍少尉　海軍少尉補　上原伸次郎
任海軍少尉　海軍少尉補　梶川良吉
任海軍少尉　海軍少尉補　淺井正次郎
任海軍少尉　海軍少尉補　松本和吉
任海軍少尉　海軍少尉補　野元綱明
任海軍少尉　海軍少尉補　伊東吉五郎
任海軍少尉　海軍少尉補　川浪治倫
任海軍少尉　海軍少尉補　栗田伸樹
任海軍少尉　海軍少尉補　今井兼昌

任海軍少尉　海軍少尉補　伊地知　季珍
任海軍少尉　海軍少尉補　伊地知彦次郎
任海軍少尉　海軍少尉補　坂本　一
任海軍少尉　海軍少尉補　伊禮　幸助
任海軍少尉　海軍少尉補　高橋　義篤
任海軍少尉　海軍少尉補　吉井　幸藏
任海軍少機關士　海軍機關士補　星野　檜吉
任海軍少機關士　海軍機關士補　淺田　整次郎
任海軍少機關士　海軍機關士補　永嶽　謙光
任海軍少主計　海軍主計補　淺野　勇
任海軍少主計　海軍主計補　福永　吉之助
任海軍少主計　海軍主計補　堀井　常三
任海軍少主計　海軍主計補　武内　錄彌
任海軍少主計　海軍主計補　曾山　嚴彦

○明治十六年十一月五日

任海軍中尉　海軍少尉正八位　高野瀬　廉
任海軍中尉　海軍少尉正八位　藤原　信高
任海軍中尉　海軍少尉正八位　關　文炳
任海軍中尉　海軍少尉正八位　武富　邦鼎
任海軍中尉　海軍少尉正八位　鏑木　誠
任海軍中主計　海軍少主計正八位　愛敬　四郎次

○明治十六年十一月九日

任步兵少尉　吉村　豐治
任步兵少尉　竹中　德二
任步兵少尉　黑澤　永知　勳八等
任步兵少尉　盛　藤次郎
任步兵少尉　赤松　國封　勳七等
任步兵少尉　佐藤　清行
○明治十六年十一月廿日
補大敎正　中敎正　青蔭　雪鴻
○明治十六年十一月廿一日
任四等警視兼一等警察使　栃木縣警部長從七位　松澤　光憲
○明治十六年十一月廿六日
任判事　司法一等屬　竹田　忠質
○明治十六年十一月廿八日
敘正七位　竹田　忠質

○伺指令

○司法省

滋賀縣ヨリ縣ノ布達ニ違背スル者處分方ノ儀ニ付伺

本縣限リ制定スル布達施行期限ハ是迄別ニ相定メス總テ太政官布告施行期限ニ準シ來候處本年太政官第拾七號公布ヲ以テ布告布達施行期限制定セラレ候ニ付テハ爾來本縣限リ定ムル處ノ布達ニシテ仮ヘハ地方限リノ違警罪目ニシテ特ニ施行期日ノ記シ無之分之ニ違背スルモノハ尙ホ從前ノ慣例ニ依リ右第拾七號公布第壹條ニ準シ發令ノ日ヨリ七日ヲ過キタルトキハ相當處罰致シ可然哉

明治十六年十一月九日

指令　伺之通

明治十六年十一月廿八日

○官廳彙報

○品川農商務大輔ハ宮崎縣ノ巡廻ヲ了ヘテ來ル十二月下旬歸京ノ筈同隨行官農商務少書記官奥青輔ハ宮崎大分福岡佐賀熊本長崎等ノ諸縣巡廻ノ上來ル一月歸京スル筈ノ旨電報アリタリ

○比叡艦長海軍大佐從五位笠間廣盾ハ去ル廿五日伊萬里灣ニ於テ卒中症ニ罹リ卒去シタリ

○此ノ程千葉縣下ノ巡回ヲ命セラレテ出張シタル農商務大書記官岩山敬義及同省准奏任御用掛垣田彌ハ去ル廿六日歸京シタリ

○富山縣令國重正文ハ去ル廿二日新嘗祭奉幣使トシテ管下射水郡射水神社參向翌廿三日祭式了リ射水郡役所高岡警察署及學校病院等ヲ巡視シ同日歸廳」同縣警部長大渡直清ハ管内各警察署同分署等巡視ノタメ同廿二日發途」靜岡縣大書記官永峯彌吉ハ本月廿三日新嘗祭奉幣使トシテ遠江國引佐郡井伊谷村官幣中社井伊谷宮ヘ參向同日同郡第七學區村立小學三花學校新築開業式臨場翌廿四日同郡與山村方廣寺ニ於テ舉行セル從軍戰死者ノ招魂祭ニ臨ミ歸路三方原三角測量基點ヲ巡見シ仝廿五日歸廳」山梨縣警部長大鳥居次郎ハ第一區警察聯合會結了ニ付去ル廿五日歸署シタリ

○豫テ上京中ナリシ阿仁鑛山局長工部大技長大島高任ハ昨廿八日出發歸局シタリ

○參謀本部次副官步兵少佐上領頼方ハ去ル廿一日御用有之小地測量各班ヘ出張ヲ命セラレタリ

○曩ニ神宮新嘗祭　勅使トシテ參向セシ三等掌典林直庸ハ一昨廿七日歸京シタリ

○昨二十八日判事高木勤ハ神戸始審裁判所長ヲ同加藤祖一ハ大審院詰ヲ命セラレタリ

○豫テ上京中ナリシ德島始審裁判所長判事伊藤謙吉ハ本日發京歸廳シタリ

○撿事加納謙ハ去ル九日ニ同西村讓及四等警視松澤光憲ハ同廿一日ニ判事竹田忠質ハ同廿六日ニ各左ノ通仰渡サレタリ

自今年俸千八百圓下賜候事　撿事　加納　謙
自今年俸九百六拾圓下賜候事　撿事　西村　讓
下等月俸下賜候事　四等警視　松澤光憲
年俸千貳百圓下賜候事　判事　竹田忠質

○曩ニ東海道地方巡回ヲ命セラレ出張シタル太政官准奏任御用掛草野宜隆ハ一昨廿七日歸京シタリ

○農商務省准奏任御用掛小杉雅三ハ今廿九日汽船撿査トシテ横濱港ヘ出張シ又昨日同事件ニテ栃木縣ヘ出張ヲ命セラレタリ

○海軍省艦船營需用品取調委員雇英國人トーマス、エッチ、ゼームスハ去ル廿四日滿期ニ付解雇シタリ

○正誤

○官報第百貳拾四號達欄内太政官達第五拾貳號憲兵條例改正中左ノ通正誤ス

改正　第五十二條本部武器掛ノ下「及ヒ書記」ノ四字ハ衍憲兵曹長ノ下「同書記ハ憲兵曹長軍曹ヲ以テ」ノ十三字ヲ脫シ大隊附武器掛ノ下「及ヒ書記」ノ四字ハ衍憲兵軍曹ノ下「同書記ハ憲兵軍曹伍長ヲ以テ」ノ十三字ヲ脫ス

明治十六年十一月二十九日　内閣書記官

号 127 本文

○官報第百貳拾三號東京府達欄內東京府內第百八拾壹號別記理學部中大平松次郎ノ頭書愛知縣ハ愛媛縣ノ誤仝部中堀悌三郎ノ下「靜岡縣士族松島鉦四郎廿二年三月」ノ十五字ヲ脫シ古典講習科中西村金平ノ下廿年ハ廿三年ノ誤仝豫備門本黌退學生中能勢陳安ノ頭書宮城縣ハ宮崎縣仝項中小松錄次郎ハ謙次郎仝項中高槻純之助ノ下廿年四月ハ廿二年四月ノ誤リ

明治十六年十一月廿九日　東京府書記官

○官報第百貳拾六號官廳彙報欄內第三項二行目醫正八位トアル「位」ハ衍又同行中山內長久トアルハ山內長人ノ誤

○兵事

○行軍演習（陸軍省報告）　近衞步兵第二聯隊第二大隊ハ昨廿八日長途行軍演習トシテ神奈川縣及山梨縣地方ヘ向ケ出發シタリ

○教導團生徒撿査（福岡縣報告）　第六軍管派出教導團生徒召募撿査官步兵中尉河島至誠ノ一行ハ本月十二日同縣下小倉ヘ着シ翌十三日ヨリ撿査施行ニ付豫ヅ各志願者召集ノ手數ヲナシ尙縣官壹名ニ派出ヲ命シ撿査官ニ隨行セシメタリ撿査場ハ小倉飯塚福岡、久留米ニシテ來ル廿三日限撿査完了スル筈ナリ

○徵兵下撿査結了（富山縣報告）　富山縣徵兵下撿査ハ本月廿一日ニテ全ク結了セリ十七年相當徵集者七百七拾餘名內下撿査濟ノモノ五百七拾餘名ナリ

○軍艦出港（海軍省報告）　扶桑金剛ノ兩艦ハ昨二十八日長崎ヘ向ケ伊萬里灣ヲ出發セル旨屆出テタリ

○學事

○靜岡縣明治十五年學事年報摘要（文部省報告ノ續キ）

小學校教員免許狀授與規則教員品行撿定規則ハ其ノ施行以來教員學力ノ權衡ヲ得且父兄ノ信用ヲ厚クシタルヲ以テ大ニ就學ノ數ヲ增セリ是督責規則ト相待チテ其ノ效ヲ成シタルモノト云フヘシ然ルニ教員供給ノ點ニ至リテハ豆陽伊豆靜岡ノ三校ノ外ニハ其ノ養成ノ途ナシ生徒ヲ募ラントストモ學資ノ乏シキヲ奈何セン又俸額ノ規定アレトモ多クハ其ノ最下額ヲ給シ且俸給ハ村民ヨリ直接ニ之ヲ受クルヲ以テ猶雇役ヲ以テ之ヲ視ルノ弊アリ故ニ後來俸給ハ之ヲ郡役所ニ徵集シテ各校訓導ニ配附スルノ制ヲ設ケントス本年訓導ノ數ハ七百四拾五名ニシテ前年ヨリ百六拾六名ヲ增シ准訓導ハ拾六名ニシテ皆本年ニ就職シ授業生助手ハ貳千四百七拾八名ニシテ貳百三拾五名ヲ增セリ

專門學校及農商工學校等ハ本縣未其ノ設ナシ各種學校ハ貳拾八アレトモ概ネ裁縫習字算術等ノ一科若クハ普通科ノ一二ヲ授クルモノニシテ英漢學ヲ備ヘタルモノ貳三校ニ過キス蓋此等ノ不整備ナルハ畢竟校主ノ自ラ教授スルヲ以テ自ラ學科ニ偏長アリ且單一ノ力ナレハ授業管理兩ナカラ其ノ便ヲ得サレハナリ

書籍館ハ縣立靜岡師範學校ノ附屬一館アリ明治十一年ノ設立ニシテ所藏ノ圖書和漢ノ部千九百四拾部洋籍貳千貳百五拾三部本年來觀者ノ數百六名アリ

公學資ハ靜岡師範學校及中學校ハ專ラ地方稅ノ支辦ニ屬シ豆陽學校ハ伊豆四郡ノ負擔ニ屬シ伊豆、沼津掛川濱松ノ四校ハ地方稅補助費ト該町村ノ協議費トヲ以テ之ヲ支辦ス町村立小學校ハ地方稅補助費（此ノ小學校補助費ハ學齡ニ配當スルヲ以テ學校ノ貧富ニ係ラス一般ニ配附スルモノナリ）ノ外單ニ協議集金ニ資ルモノアリ積金利子ヲ加フルモノアリ其ノ他年賦有志寄附等其ノ割合多寡一ヶ枚舉スルニ暇アラス然レトモ要スルニ一歲千圓以上ヲ支出スルモノハ拾三校ニシテ其ノ最寡點ハ亦百圓ヲ下ラス又積金額ノ總計ハ四拾貳萬八千九百八拾圓六拾四錢壹厘ニシテ前年ヨリ三萬八千五百八拾四圓七拾三錢九厘ヲ增加ス其ノ割合ハ最多額七千圓以上ニ上リ最寡額ハ五拾圓ニ充タサルモノアリ猶後來ハ專ラ之ヲ勸誘シテ充分ニ上進セシメンコトヲ計畫セントス

本年度縣會教育費議決ノ狀ハ原案額金貳萬五千九拾九圓八拾九錢其ノ確定額金貳萬四千百五拾壹圓七拾三錢ニシテ原案額ヨリ九百四拾八圓拾六錢ヲ減シ前年確定額ヨリモ亦同額ヲ減セリ

教育會ハ五六乃至貳拾ノ學區ヲ以テ組織スルモノ各所ニアリ其ノ出席員ハ大概訓導ニシテ學務委員ハ出席スルモノ甚罕ナリ蓋其ノ議事ハ從前教科研究會等ノ習慣ニヨリテ教員授業生ノ習練上ノ性質ニ傾向セリ其ノ效用大ナラサルニアラサレトモ尙本會ノ眞旨ニ向ハシメンコトヲ希望セリ

本縣學務擔任郡書記ハ多ク訓導ヨリ取リタルモノナリ是元來教育ノ旨趣ニ明ニシテ隨ヒテ事務ノ便宜ヲ得レハナリ學務委員ハ臨變規則ニ由リ當選在職スルモノ千二拾壹名ニシテ學區ノ廣狹ニヨリ壹區ニ付キ一名ヨリ拾餘名ニ至ル其ノ當選者ハ財產又ハ德望アルモノナキニアラサレトモ其ノ教育振作ノ途ニ至リテハ其ノ執ル所往々區內人民ト趣尚ヲ異ニスルコトアルヲ以テ皆此ノ職ヲ避ケ其ノ任ヲ全ウスルモノ甚少シ故ヲ以テ其ノ任免モ煩雜ニシテ本年中ニ八百四拾四名ニ上リ常ニ其ノ人ヲ得ルニ困シム後來ハ猶特任學務委員ヲ置キ拾學區乃至貳拾學區ヲ管理セシメントスルノ目的ナリ

將來學事上須要ノ件ハ學務課員巡廻ノ度ヲ多クシテ教育內部ノ改良ヲ圖リ、學務擔任郡書記ヲ召集シテ諮詢推問示諭ノ會ヲ起シ、教育縣會ヲ起シ教授法ヲ改良セシカタメ各校訓導中ヨリ委員ヲ選ヒ師範學校ニ召集シテ之ヲ傳習セシメ、小學校經費標準ヲ示シ、町村費師範生徒ヲ募集シ、小學校大試驗ノ專務掛並ニ巡廻訓導ヲ置キ、醫學校藥學校及教育博物館ヲ設置スル等ノ數件ナリ

○農工商事項

○稻作收穫概表（大分縣報告）　本年大分縣下稻作ノ景況ハ播種以來季候平順挿秧其ノ時ヲ得テ平年ニ比スレハ收穫稍豐饒ナリ元井堰養水掛地ハ七八月ノ交非常ノ旱魃ナリシニ春雨多カリシカ故水源幸ニ涸ルヽニ至ラサリシカトモ山間僻地ノ天水地及溜池水掛地ニ至リテハ田面龜裂シテ稻葉黃色ヲ帶ヒ殆ト皆無ニ屬スルヲ見ル然レトモ全管ヲ一視スレハ此ノ害ヲ被ルモノ極メテ僅少ナリ又九月中旬暴風雨ノタメ開花セシ毛上ニ損害ヲ被ルヿ多ク甚シキハ田面一穗ヲ殘サヽルモノアレトモ是亦一部分ニ過キス其ノ他害蟲ヲ發生セシ地方アレトモ夜間冷氣ヲ催シ且驅除法ヲ施セシニ依リ幸ニシテ大害ヲ被ルニ至ラス爾後季候順ニ復リ枯損亦甚色ヲ顯シ概シテ豐穰ヲ視ルニ至ル但シ地形ノ乾濕ニ依リ各郡不同ナリト雖其ノ收穫ヲ概視スルニ左表ノ如シ

本文 127 完

稻作收穫概表

國名	郡名	早稻中晩區別	收穫歩合	平均壹段歩穫量	別植付歩合
豐後	西國東	早稻	七分	九五石	一歩
〃	〃	中稻	七五	一	七
〃	〃	晩稻	八	一〇五	二
〃	東國東	早稻	一一	一三七	一四
〃	〃	中稻	一〇	一	三一
〃	〃	晩稻	一二	一二五	五五
〃	遠見	早稻	六	一一	二
〃	〃	中稻	七	一三	二
〃	〃	晩稻	七	一三	六
〃	大分	早稻	九	一八	一
〃	〃	中稻	九	一九	八
豐後	大分	晩稻	九	一八	一
〃	北海部	早稻	一〇五	一五二	四
〃	〃	中稻	九六	一三九	三九
〃	〃	晩稻	八六	一二五	二一
〃	南海部	早稻	一二	一五	二五
〃	〃	中稻	九	一三五	三
〃	〃	晩稻	一三	一六五	四五
〃	大野	早稻	一〇	一五三	一
〃	〃	中稻	一二	一六八	七五
〃	〃	晩稻	一一	一六三	一五
〃	直入	早稻	一一	一五五	一二
〃	〃	中稻	一三	一六六	六六
〃	〃	晩稻	一二	一六	二二
〃	玖珠	早稻	九	一一	三
〃	〃	中稻	一〇	一四	五
〃	〃	晩稻	一〇	一五五	二
〃	日田	早稻	九	九七	二
〃	〃	中稻	一一	一一七	六
〃	〃	晩稻	一〇	一四	二
〃	豐前	下毛	八八	一五	七
〃	〃	中稻	一〇	一七	六六
〃	宇佐	早稻	八	一一	二
〃	〃	晩稻	九五	一六二	二七
〃	〃	中稻	八	一一	五
〃	〃	晩稻	八	一一	三

○海底線沈布（工部省報告）本邦朝鮮間ノ海底線沈布ハ本月廿三日竣工セシ旨長崎ナル大北部電信會社技長ボールヨリ通知アリタリ

○横濱港賣込品及引取品元價表（大藏省報告）・大藏省國債局ニ於テ調査シタル本年十月中横濱港賣込品及引取品元價表左ノ如シ

明治十六年十月中賣込品數量及原價表

品名	數量	原價
器械生絲	一一〇、七〇〇、二八	六四四、六五八
提全	二八五、三五六、二六	一、四〇八、一五七

明治十六年十月中引取品及原價表

品名	數量	原價
全附屬品	四一四、六三五、〇〇	四〇〇、一三一
製茶	三九四、九〇〇、〇〇	六八、六七九
海産物		一〇三、八五九
雜貨		七七、二五七
代洋		二、七〇二、七四三
洋絲	一、一二二、五三五斤	三三三、五三九匁
三巾金巾	一一、一九九反	二五、九六七
並巾全	三〇、七三二、	六一、四六四
紅全	一二、二九〇、	一八、四三五
染全	一一、九〇三、	一九、四五六
綾全	三一〇、	七七五
晒全	一、〇三五、	二、〇七〇
天竺全	七、一〇〇、	一〇、六五〇
スリキ紗	三五〇〇、	一〇、五〇〇
縮緬呉呂	一五、五五一、	六二、二〇四
更紗	七、三七五、	一四、七四〇
冠更紗	二五〇、	三七五
寒冷紗	五、四〇〇、	三、七八〇
唐機	一、八九八、	三、七九六
唐天	三、五七〇、	二二、二九六
南京繻子	一、〇〇七、	二四、一六八
毛繻子	五、八八五、	三九、四六八
綿繻子	五、四一〇、	一二、八七〇
綿毛繻子	一、一二〇、	三、三六〇
フランネル	四、九三〇反	三、四五一
絨	一、一八一、	三一、三〇二
セラ板	四〇、	四〇〇
唐繻子	五、	一二〇
呉呂	三、五四〇、	三、三七五
紋羽	一二〇、	三六〇
繭紬	三、八一〇、	一一、四三〇
ケット	一二、四五八封	二四、九一六
麻紋絨	一〇反	三〇〇
コヲルテン	一五、	六〇
唐綿	八一、一九〇斤	八、二五五
リンス	二〇〇反	一、二〇〇
糖	一、二九二、九〇〇斤	一〇三、四三二
車全	二一七、八〇〇、	一〇、八九〇
中全	二、七六二、四〇〇、	一二二、六一五
玉全	一一、八一〇、	一、二四一
氷全	一、三二二、八〇〇、	三三、〇七〇
鍍	三、三五〇、	一〇〇
釘鍍	二四二、六〇〇、	一四、五五六
鉄線	二二三、五九〇、	三、三五三
統鍍	五三、七七〇、	五、三七七
鋼	三、一三五、	一八八
亞鉛引板	四五、四〇〇、	二、九四八
亞鉛板	三五、六二四、	二、九六八
鉛板	四五、三一七、	二、九八四
生子鉛	三一、六〇〇、	一二、六四〇
黃銅板	一、九〇〇、	八五五
錫板	二七、五〇〇、	六八七
丁亞鉛板	四、一九〇、	五〇
銅板		一〇

第 127 号

船用綱	三、四九七 斤	三八四	六七
石油	四九〇四二 番	三二、二二三	〇〇
甲鐵	四四二 斤	六、六七〇	〇〇
和洋甲	七四一、	四、四四六	〇〇
象牙類	三三、	一九八	〇〇
角	三、二九二、	四八九	四八
象皮	五、八六六、	二、三四六	〇〇
生地皮	二五、七一五 枚	五、一四三	〇〇
印度皮	四、六三四 斤	一、二七四	五二
毛皮	三、一〇一、 枚	七七五	二五
牛皮	六〇二 打	一、八〇六	〇〇
肉色皮	一三〇	一、一八〇	〇〇
ラヘッ皮	二九二、	八七六	〇〇
油皮	三〇、 斤	二一〇	〇〇
髪毛	一、六〇〇 匁	四四八	〇〇
硝子板	二、七四四	八、二三二	〇〇
仝器	一七、 打	八	五〇
ホヤ	一一、〇八六	七、七六〇	二〇
シンバル	七五四 ダース	五二七	八〇
帽子掛	九五一 打	五、七〇四	〇〇
ハンケチ	二三三、	二、三三〇	〇〇
肩掛	九二六、	九二六	〇〇
手套	七、四三九、	一一、一五八	五〇
大小拭	一、二八二、	一、二八二	〇〇
莫大小	六八、	六八	〇〇
手袋	二六四、	二六四	〇〇
靴足品	一〇〇、	一〇〇	〇〇
服飾	四四、	二六四	〇〇
香水	二、四三九、	八五三	六五
石鹸			

蠟燭	四三 打	二五八	〇〇
金時計	四 箱	二〇〇	〇〇
銀仝	二二四、	一、五六八	〇〇
掛洋酒	二二九、 瓶	一、〇一六	〇〇
洋紙	一、三三七 ダース	六、六八五	〇〇
唐蔑	八六一 ダース	三、四四四	〇〇
唐紙	四三二 束	三、〇二四	〇〇
ペンキ	一、五〇〇 斤	一九五	〇〇
牛乳	三三 缶	九九	〇〇
食料	二七 箱	一三五	〇〇
セメント	六九、 樽	三四五	〇〇
染料	八一 樽	二四三	〇〇
藥	一、〇五一 瓶	一四、三一七	〇〇
雑貨	二、九〇八、	六三、三六八	五〇
麦粉	二九七、 斤	一四、〇三〇	〇〇
小豆	七、八〇〇、 斤	一九六	〇〇
フリキ	一六、〇〇〇、 瓶	四〇〇	〇〇
鍋釘	三七八、三〇〇 段	二五	〇〇
帆布	二九二 段	一八、九一五	〇〇
セルジス	六、	一、六八三	九〇
モヘール	四二	九〇	〇〇
金剛紗	九、 ヤード	二〇〇	〇〇
洋代	二五	一、三四七、六二二	三五

明治十六年十月中賣込品引取品元價比較

賣込品元價總計	二、七〇二、七四三、六二 弗	一、三四七、六二二、三五 弗
引取品元價總計	一、三四七、六二二、三五 弗	一、三五五、一二一、二六 弗
差引賣込品元價超過		一、三四七、六二二

○生絲輸出（農商務省報告）　去ル廿四日横濱ヨリ香港ヘ向ケ出帆ノ佛國郵船「メンザレー」號ニテ生絲七百九拾壹俵（内六拾俵内國商直輸出）屑物貳百拾八個（内三拾壹個内國商直輸出）ヲ輸出セリ但シ運賃割合ハ前回ト變更ナシ

○第四回觀古美術會開場中ノ景況（東京府報告）　第四回觀古美術會ハ去ル廿一日ヲ以テ閉場セリ本月一日該會開場以來一週間毎ニ出品ヲ交換シ諸家ノ珍藏ヲ排列シ偏ク公衆ノ觀覽ニ供セシニ縱覽人中或ハ画幅ヲ摸スルモノアリ或ハ裱裝ノ古錦繡ヲ寫スモノアリ或ハ落款ヲ抄スルモノアリ或ハ古董ヲ評スルモノアリ而シテ開場中縱覽人ノ總計ハ九千七百五人ニシテ一日平均四百六拾貳人餘ナリ

○海員及第（農商務省報告）　一昨廿七日農商務省管船局ニ於テ海員技術ノ試驗ヲ受ケタル山口縣士族中原勢造ハ甲種二等機關手ニ及第シタリ

○海員審判（農商務省報告）　遠江國福田港環洋社所有汽船明進丸ハ明治十五年七月三十日仝國濱名港外ニ於テ難破ニ罹ル顛末農商務省管船局ニ於テ審問ノ末船長ハ左ノ通申渡タリ

東京府平民
伊東工三

其方儀靜岡縣下遠江國福田港環洋社所有汽船明進丸ヘ船長トシテ執職中明治十五年七月三十日同國濱名港外ニ於テ難破之顛末遂審問處其方ニ於テハ午後六時濱名港ヲ出帆シ同所ノ水路ヲ離レ外海ニ乘出テントスルノ際俄然怒濤船首少シク左舷之方ヨリ打寄セ來リ三回迄ハ無事ニ經過シ第四回ノ波濤ヲ凌キ得ハ最早安全ナルヘシト認メ進行セシニ豈計ンヤ汽管喉瓣ノ側ヨリ破壞シ機關ヲ運轉スル能ハス已むヲ得ス流潮ト波浪トノ爲メニ海岸ニ押寄セラレ投錨之後猶本船ノ沖出シ方ニ盡力スト雖モ其効ナク八月四日午後高浪ノ爲メ陸地ヘ打揚ケラレ遂ニ船体破壞ニ及ヒタル旨申立タリ依之審按スルニ口供第六問ノ答ニ因レハ汽管破壞セルカ爲メ本船進退ノ自由ヲ失シ盡スヘキノ手段ナク終ニ陸地ニ押寄セラレ大破ニ及ヒタルモノニシテ其方ノ過失ヨリ生シタルモノニ非スト認定ス依テ此回ノ審問ニ關シテハ撹ナキモノトシ免狀ハ直ニ還付ス

明治十六年十一月廿八日　海員審問主任小笠原賢藏
仝　參坐小杉　雅二

○外報

○白耳義通信（農商務省報告ノ續キ）

安部耳港ヘ商品到着ノ時取扱ノ手續ハ左ノ如シ

一未タ陸揚セサル商品ニテ着港前既ニ賣却約定セシモノハ着港ノ時直ニ海岸ニ卸シ賣買兩者立會ノ上直ニ其ノ斤量等ヲ調査シ相違無ケレハ此ノ處ニテ請渡ヲナスモノトス若シ商品ニ破損アル時ハ檢査人即保險者若クハ其ノ代理人ノ立會ヲ受ケ愈〻破損ト看認メタル後其ノ品物ヲ他ニ取除ケ置キ再檢査ノ時ニ於テ其ノ損害要償ノ高ヲ定ム然レトモ品物引取人ハ其ノ品物ノ損害ノ有無ニ拘ラス賣渡人ニ向ヒテハ條約通ノ金高ヲ拂ヒ破損品ノ償金ハ其ノ品物ノ保險者ニ向ヒテ要求スルモノトス又商品ノ性質其ノ他ノ事項ニ付引取人ヨリ異議ヲ唱フルトキハ三人ノ檢査役ヲ選ミ賣買約條書ニ據リ引取人ノ請求ノ當否ヲ監査セシム此ノ檢査役ハ賣買雙方ト商法裁判所長ノ三人ヨリ成立スルモノナリ

127

一商品到着ノ後一時引取人無キ時ハ倉庫預ケノ手續ヲナシテ倉庫ニ運送ス然ル上ニテ引取人アルトキハ倉庫掛或ハ荷主ヨリ壹人又ハ數人ノ周旋方即仲買人ニ見本ヲ出サシメ賣買ノ約定ヲ周旋セシムルヿトス周旋人ノ手數料ハ通例壹割ナレトモ品物ニ依リ僅ニ四分乃至三分ノモノアリ取引ノ約定ハ大抵二十日以内ト定ムレトモ或ハ九十日以内ノモノモアリ三十日以内ノ拂ナレハ其ノ割引ヲ貳割トシ九十日以内ナレハ壹割トス然レトモ右ノ慣習ニ拘ラス現金賣トナスモ又ハ品物ヲ抵當物同様現金引換ノ事トナスモ皆各自ノ勝手ニ任スナリ

賣方ニテ掛賣即信用賣ヲ爲ストキハ賣直段ノ少シク高貴ナルハ勿論ナレトモ又自ヲ危險ノ恐ナキ能ハス併シ信用賣ヲ爲スト否トハ賣方自身ノ勝手ナリト雖依託品ニ至リテハ決シテ信用賣ヲ爲スヘカラス若シ他人ノ依託品ヲ掛賣シテ其ノ代價ヲ收ムルトキハ手數料トシテ其ノ一分ヲ領スルハ通例ナレトモ萬一代價ノ滯ルトキハ委託人ニ對シ勿論其ノ責ヲ負ハサル可カラサレハナリ

一依託品ヲ賣却スルトキハ其ノ見本ヲ以テ我カ當ニ信用スル人又ハ外國ノ周旋人ニ送ルヿアリ此ノ場合ニ於テ惣テノ手續ハ安部耳港中ノ手續ニ異ナルヿ無シ

一海外ノ商人ニテ安部耳港ヘ品物ヲ輸送シ仝港ノ仲間商ニ賣却ヲ依託スル時ハ海外商人ニ於テ預主及品物ノ性質ハ勿論其ノ形容等ニ至ル迄モ成ル可ク明細ニ詳記シ郵便ヲ以テ通知シ置クヿ肝要ナリトス然ル時ハ仲間商ニテ港内ハ勿論他ノ地方若クハ外國人モ右品物取引口ヲ求ルノ手筈ニ掛ルナリ若シ他ノ地方ニ於テ買方ヲ見出シタルトキハ右ノ品物ヲ積來ルヘキ船ノ安部耳港ヘ到着スルノ前直ニ英國ナリ又ハ佛國ナリ需用アル地ヘ轉運スルヲ得テ大ニ費用ヲ減スルノ便益アリ又商品ノ未タ陸揚セサル内即商船未着ノ時既ニ買方ヲ見出シタルトキハ買方ハ着船次第惣代價十分ノ九ヲ賣方ニ拂ヒ荷物陸揚ノ後爰リ一分ヲ拂フモノトス

一着港ノ荷物ニテ海關稅ヲ拂ハス何時迄モ倉庫ニ預置クヿ勝手タリ然レトモ商品ノ性質及其ノ大小ニ應シ倉敷料ヲ拂ハサル可カラス但シ倉敷料ハ其ノ額甚僅少ナリ

一商品ノ陸揚ヨリ倉庫出入ノ運搬等ハ凡テ運送會社ニ依託スルヲ便トス此ノ社ニハ夫々役員アリテ必用ノ運送馬車及諸道具等一切具備セリ運賃ハ諸商人承諾ノ上ニテ取極メタル定價表ニ依ル是亦僅少ノ割合ニ當ル

一倉庫預ケノ商品ヲ抵當トシ貸金スルノ銀行會社アリ此ノ貸借期限ニ定リナシト雖通例一ケ年以内トス故ニ辨償ノ期限ヲ三ケ月ト定ムルモノ多シ其ノ間ニ辨償セサル時ハ一ケ年六分ノ利息ヲ拂ヒ三ケ月毎ニ延期スルヲ得

又凡都府ノ名アレハ必相場所ノ設アリ此ノ相場所ハ各種營業ノ失商仲買人保險人船賃人銀行者及其ノ他商事ニ關係アルモノヽ毎日定時間ニ集會スル所トス安部耳相場所ハ毎日午后一時ヨリ二時マテノ定時間ニ凡四千ノ人員來集シ共ニ商事ヲ談ス之ニ由リテ得ル所ノ益甚大ナルハ勿論第一交際ヲ廣クシ諸般ノ商事ヲ聞キ新ニ事業ヲ企ツルノ方法ヲ研究シ及諸般商事ノ景況ニ通シ營業ノ目途ヲ立ツル等枚擧ニ遑アラス

相場所内ニハ電信局商事裁判所商工航海社及諸物品競賣ノ場所等ヲ設ク凡一商社ノ頭取タル程ノモノハ必此ノ商工航海社ノ社員ニアラサルナシ而シテ事務ノ性質ニ應シ各分局ヲ置キ其ノ景況ヲ調査シ掛酌改良スヘキ見込アルモノハ其ノ改良案ヲ社員總會ノ節之カ掛委員ニ提出ス委員之ヲ可決スルトキハ更ニ政府ニ向ヒテ報告又ハ請願スルコトアリ此ノ場合ニ於テハ政府モ亦其ノ趣旨ヲ掛酌シ取ルヘキモノハ直ニ委員ニ就キテ其ノ方向ト意見トヲ審問スルノ例ナルカ故ニ政府モ商社モ常ニ公益ニ着目シ互ニ諮問スルヿアリテ協同一和有益ノ發明及改良ノ舉アルヿ多シトス抑安部耳相場所ハ千八百六十二年ノ火災ニ延燒シ一朝灰燼トナリタレトモ直ニ再築シ其ノ費用ハ一切區費ヲ以テ支辨セリ故ニ毎日相場所ニ來集スルモノニハ小商ハ一年拾法大商ハ五拾法ノ税金ヲ課賦シ費用償還ノ資ニ充ツ其ノ外毎日午後二時閉鎖時限ヲ過キ來會スルモノニハ五拾仙ノ罰金ヲ出サシメテ入場ヲ許ス此ノ罰金モ亦償還ノ一部トス

總テ何ノ商業ニテモ商店ト住居トハ皆其ノ場所ヲ異ニス商店ハ大抵中央繁華ノ處ニ在リ住居ハ之ニ反シテ多ク偏隅ノ場所ニ在リ商店ハ大抵午前九時ニ開キ午後六時ニ閉鎖スルモノ多シ晝食ノ時間ハ正午ヨリ大抵一時間ト定ム頭取又ハ重立チタル手代等ハ皆午后一時ヨリ二時マテハ相場所ヘ集會シ再ヒ商店ニ歸リ事務ヲ扱フ茄琲米大麥毛布類ノ如キ品物ヲ取扱フニハ皆一品毎ニ課ヲ分チ專ラ一課ノ事ノミニ從事セシム

番頭以下諸傭人等給料ノ振合ハ大抵左ノ如シ

一支店ノ長トモ成ルヘキモノニハ一ケ年六萬法乃至拾萬法ノ給料ヲ與フ又數年間忠實ニ精勤シテ功アルモノニハ右給料ノ外ニ利益金ノ五分乃至貳割五分ノ賞金ヲ與フルヿアリ

一諸記錄ノ事ヲ司リ及荷物運搬等ニ從事スルモノハ六百法乃至四千法ノ年給トス

一十六歲以上二十歲未滿ノモノニテ内ニ在リテハ諸種ノ書寫ニ從ヒ外ニ在リテハ各所ノ奔走ニ從フモノヽ之ヲ號ケテ商業見習人ト云フ此ノ輩ニハ別ニ給料ヲ與ヘサレトモ其ノ才幹アリテ精勤スルモノニハ褒賞トシテ初年ニハ百法以下四百法マテヲ與フルヿアリ

總テ諸商家共ニ撒掛リ壹名乃至三四名ヲ使用セサルモノ無シ此ノ輩ノ給料ハ大抵日給ノモノ多ク少キハ二法多キハ八法マテヲ與ヘ時ニ依リ別ニ若干ノ褒金ヲ與フルヿアリ又外國貿易ニ關スル一切ノ品物ヲ取扱フ商家ノ數ハ甚多カラサレトモ米穀牛乳烟草等ノ如キ商品ノ内一種ノ品ヲ取扱フ商家ハ極メテ多シ其ノ組織モ皆他ノ商家ト異ナルヿ無シ但シ右品物取引ノ手續ハ重ニ仲買人ノ手ヲ經ルモノトス則先ツ見本品ヲ仲買人ニ依託シ其ノ周旋ヲ以テ買方ト相當ノ談判ニ渉ルヲ常トス此ノ仲買人ハ皆午後一時ヨリ二時マテ相場所ニ集會シ此ノ處ニテ多ク賣買ノ約束ヲ取極メ二時以后ハ右賣買ヲ實際ニ授受スルノ手續ヲナス

重立チタル商店仲買人保險者船賃人等十ノ八九マテハ自己ノ間互ニ電線ヲ架シテ通信往復シ奔走ノ勞ト時間ノ消費トヲ省クヲ以テ商業ノ取引モ隨ヒテ活潑ノ勢ヲ增スニ至ル而シテ商業ニ最緊要ナルモノハ通信ヲ以テ取引ヲ爲スヿ是ナリ是ハ重ニ海外貿易ニ關係スル商家ニシテ豫メ海外ノ商家又ハ商社ト約定シ商品ノ見本ヲ請取リ之ヲ以テ仲買人ヲ相手トシ大口ニ賣捌クヲ主トスルモノニテ決シテ小口ノ賣買ヲナサヽルモノナリ此ノ如キ商品ノ賣買ニ關スル諸證書仲買人トノ約定相場買方姓名等ハ凡テ海外ノ商人又ハ商社ニ報告スヘシ此ノ通信商ノ手數料ハ平均百法ニ付貳法ノ定メナリ

安部耳港ニテ取引スル諸商品ニ關シ特殊ノ一社アリ此ノ社員ハ即仲買人ニシテ常ニ内外ノ商況ヲ研究シ品物ノ價格高低及其ノ多少ニ注意シ又產地ノ收穫如何ヲ探知シ三ケ月乃至六ケ月中諸品ノ相場高低ヲ生スヘキ時情ト商事ニ影響スヘキ歐洲諸政府ノ改革等ニモ注意シ

第 127 号

テ毎週一度諸商品ノ平均相場ヲ定ム此ノ相場ハ此ノ地ノ需用供給ノ度ニ應シテ定ムルハ勿論ナリト雖歐米諸方ヨリ報知ノ相場モ亦大ニ關係ヲ有スルモノトス毎週ノ土曜日ニ此ノ社ヨリ刊行スル諸品相場表ハ必廣ク歐米諸洲ヘ送付ス此ノ表ハ極メテ確實正當ヲ要スルカ故ニ商業ノ大体ヲ定ムルニ於テ參考ノ裨補極メテ多シトス

安部耳港ニ一大商法學校アリ講義ヲ聞キ解得ノ力アルモノハ内外人ヲ論セス隨意入學スルヲ得此ノ學校ノ生徒ニハ商法工業銀行海上商業船舶等ニ關スル諸科ヲ分チ教フ生徒ノ年齢ハ十七歳ヨリ二十歳マテトス入學料ハ一ケ年ニ百法ヲ拂ハシメ科業ノ書籍ハ自辨トス入學ヨリ二年或ハ三年目ニ試驗ヲ行ヒ及第ノモノニハ得業生ノ學位ヲ授ク此ノ學位ヲ有スル者ハ實際ノ事業ニ從フ「固ヨリ容易ナリトス」數千ノ職工ヲ傭使スル大製造所ニテハ場中ニ學校ヲ設ケ職人ノ子弟ニ小學ノ學科ヲ教授スルモノ多シトス小學科卒業ノ後ハ事業ノ論理ヲ教授スルカ故ニ成長ノ後ハ稍學問ノ理ヲ知リ猶實際ノ練磨ヲ積ミ遂ニ上等ノ職工トナルヲ得ルナリ右職人ノ子弟中非常ノ才アルモノハ製造所長ノ費用ヲ以テ之ヲ他ノ專門學校ニ入ラシメ專工業上ノ諸科ヲ學ハシメ卒業ノ上學位ヲ得メル後再ヒ我カ製造所ニ使用スルヿト定ム

日本物産ヲ白耳義ニ輸送スレハ必一定シテ販賣ノ途ヲ得ヘキモノ頗ル多シ然レトモ之ヲ賣却スルニハ安部耳ニ直輸シ日本製産者ト白國ノ商人ト互ニ交通ノ約ヲ結ハサル可カラス全体商業上賣買雙方ノ間ニ絶エス交通ノ約アルハ彼我ノ利益上最緊要ナルモノニシテ製産者ニシテ其ノ物品ヲ需用者ニ直賣スルヿハ別ニ仲買者等ノ手數料ヲ要セス雙方ノ利益メルハ固ヨリ言ヲ俟タス然ルニ現今日本製産者ハ如何ナル方法ヲ以テ品物ノ賣却ヲナス歟ト問ヘハ其ノ製造品ヲ日本ノ仲買者即投機商ニ賣渡スヲ第一着トシ投機商ハ多少ノ利益ヲ收メテ之ヲ日本在留ノ洋商ニ賣込ムヲ第二着トシ洋商ハ又多少ノ利益ヲ收メ遠ク之ヲ歐洲地方ノ交通商人ニ積送ルヲ第三着トス以上數商ノ手ヲ經テ始メテ歐洲消費者ノ手ニ落ツニ至ル今此ノ數商ノタメニ中間ニ立チテ博セラルヽ利益ヲ壹割ト假定スレハ日本製産者ノ直輸ニ依テ得ヘキ利益ノ大ナルヤ明白ナリトスサレハ目下ノ急要ハ先ヲ右ノ如キ仲買者ヲ經由スルノ道ヲ塞クニ在リ此ノ事最日本貿易上緊要ノ事ニシテ最覩易キノ理由タレハ更ニ何等ノ反對説ヲ主張スルモノアラサル可キハ勿論仲買者其ノ人ニ於テモ辨論ノ辭柄ヲ有セサルヤ明ナリ我カ日本製造者ハ宜ク歐洲地方ニ交通商ヲ設ケ以テ之ト直接ノ取引ヲ謀ルヘシ

歐洲諸邦就中白耳義ト日本トノ間ニ於テ一定永遠ノ貿易品ト稱ス可キモノヲ概舉スレハ左ノ如シ

第一（米）　毎年白耳義ヘ積送ノ高凡貳拾萬俵ナレハ容易ニ賣却スルヲ得ヘシ

第二（烟草）　黄色ナル大葉ノ儘ニテ宜シ此ノ需用ハ決シテ少カラス赤黒色ノ葉烟草モ亦賣却スヘキ途アレ元黄色ノモノニ比スレハ價モ低ク且賣レ方モ少シク鈍カルヘシ又日本烟草ヲ葉卷トナシ輸送セハ日本ニテ賣却ノ價ヨリ凡二三倍ノ高價ニテモ容易ニ賣却スルヲ得ヘシ併シ斯ノナスニハ地質上ノ吟味ヲナサヽル可カラス現今歐洲ニテ最高價ノ烟草ハ「キユバ」「ヒリツピン」並ニ「スマトラ」ノ三島ノ産トス此ノ三所ハ皆氣候ノ炎熱ナルヲ以テ見レハ日本ニテモ烟草ノ耕作ハ必熱地ニ適應スヘシ

右三島ノ煙草培養ハ暹羅ニシテ低卑ノ地ニ於テスト聞ク其ノ故ハ烟草ノ葉ヲ長大ナラシムルニハ土地ニ十分ノ濕氣ヲ要スルカ故ニ最良ノ烟草ハ必河邊ノ土地ニ産シ高燥ノ地ニ産スルモノ甚尠シ

第三（茶）　方今白耳義ニテ消費ノ量ハ猶甚僅少ナレトモ隣國ニテノ消費量甚多キ故其ノ地ヘ轉賣スルヿ決シテ難カラス

第四（小麥）　如何程多量ナルモ賣却容易ナリ

第五（油氣アル穀物）　此ノ類ノ穀物モ賣却ノ口甚廣シ日本ニハ此ノ種ノ穀物必多量ナルヘシ今數艘ノ船ニテ積送ルモ安部耳ニテ賣却ノ事甚容易ナリ

第六（麻）　是亦賣却ノ道廣シ

第七（精製金屬）　銅鉛其ノ他礦物ノ類安部耳ノ取引甚多量ナリ殊ニ日本銅ハ賣口甚宜シ自今日本礦山ノ採掘法ヲ改良セハ其ノ採掘高ヲ增加スルヤ疑無シ

第八（生絲）　現今白獨瑞西等ノ諸國ニテ日本ノ生絲ヲ消費スルヿ多キカ故ニ日本ヨリ定規ヲ立テ安部耳ニ向ケ生絲ノ輸送ヲナスヿハ獨瑞等ノ諸商ハ必來リテ直ニ購求スヘシ

第五（硫黄）　白國ニテ硫黄ノ消費高夥多ナレトモ固ヨリ廉價ノ品ナレハ運賃ノ費用最廉ナルニ非サル以上ハ設令直輸スルモ利益アラサルヘシ

第十（磁器）　茶用茄琲用其ノ他飲食用ノ諸器具ニシテ青白兩様ノ地合ナレハ歐洲ニテ賣却ノ口必增加スヘシ尤精巧ナル翫弄品ハ賣却ノ途遠シ

日本磁器ハ他國ノ製ト比スレハ歐洲ニテ賞翫ノ度甚大ナリ故ニ日本製造者ハ殊ニ注意シテ製造シ勉メテ廉價ノ販賣ヲ謀ルヿハ歐洲諸國ノ製品ト競爭スルモ必勝利ヲ占ムヘキナリ

其ノ他猶輸出ニ適スルモノアルヘシ今茲ニ略スト雖苟モ歐洲ノ需用ニ適當スル性質ノ物産ナレハ大抵安部耳ニテ賣却スルヿ決シテ難キニ非サルヘシ

○和蘭國皇帝ノ勅詞（九月二十一日刊行白耳義國アンデパンダンス）

九月十七日代議院開場式ニ於テ蘭國皇帝ハ左ノ勅詞アリタリ

朕汝等代議士ノ國家ノ公益ヲ計ルノ目的ヲ以テ茲ニ集合スルヲ喜フ我カ國ノ外交關係ハ今日最平穩ナリ

海軍及陸軍ノ現狀ハ朕ヲシテ滿足セシム

安特堤府ノ萬國博覽會ハ元私立ニ係リテ政府ノ保助ヲ與ヘタルモノナリ而シテ其ノ内國外國ノ工藝ニ向セテ競進ノ機ヲ與ヘタリ

我カ東洋ノ屬地アチンニ於ケル戰爭ノ景況ハ尚海陸軍ニ對シテ重大ノ盡力ヲ要シ且海陸軍ヲシテ報國ノ義務ヲ盡サシムヘシ

印度地方ノ屬地ニ於テハ更ニ別種ノ禍害ヲ生シ其ノ諸港ニ於テ惡疫ノ流行アリ又赤曾有ノ火山破裂ハジヤワ島ノ西部トシユマトラ島ノ南島ニ災シタリ

右禍災ニ罹レル人民ヲ救助スルタメ我カ國民ハ一般ニ惠投金ヲ出シテ共濟ノ仁意ヲ表シタリ

朕ハ固ク政府及代議院カ右ノ如ク續出セル障害ヲ排除スルタメ充分ノ勇氣ヲ有スヘキヲ信スルナリ

南米ノ屬地シユリナムノ殖民ハ日々其ノ利益ヲ增殖スルノ景況アリ

朕ノ最注目スル所ハパナマ海峽開鑿ノ事ナリ此ノ事業ハ南米キユラサオ殖民ノ爲ニ最良ノ結果ヲ與フヘシ

今日免ルヘカラサルハ國税ノ增加ナリ此ノ議案ハ當ニ之ヲ汝等代議士ノ前ニ提出スヘシ

第127号

刑法實施ニ係ル法律議案ハ日ナラスシテ汝等ノ討議ニ付スヘシ其ノ他必要ノ議案ハ悉ク汝等ニ下付シテ之ヲ議定セシムヘシ

右議案ノ取調委員ハ朕既ニ之ヲ命シタルカ故ニ法案ノ基礎ナル箇條ヲ審査シテ汝等ノ意ヲ問フ所アラン

朕汝等ト力ヲ合セテ國家幸福ノ擴充ニ從事スルヿハ即天帝ニ對スル緊要ノ義務ナリ

朕茲ニ臨ミテ代議院ノ開場ヲ告ク

○倫敦漁業博覽會略記（在倫敦領事館報告）　去ル八月二十八日ヲ以テ倫敦漁業博覽會委員ノ總會議ヲ南ケンシントンニ開キコルクイスハミルトンヲ始メ來會スル者凡貳拾餘名議員ビルクベツク會頭ノ席ニ着キ議場ヲ開ク書記モレツト常務委員ノ報告ヲ朗讀シテ曰ク

審査官中數名ヲ除ク外ハ皆既ニ其ノ調査終リタルヲ以テ其ノ報告ヲ官選特別委員ニ呈シ參觀ニ供ス可シ

常務委員ハ他日本會委員ノ認許ヲ得テ本會閉場ノ時日ヲ確定シ之ヲ公告セサル可カラス且裏ニ本會場ヲ設置スルニ當リ非常ノ費用ヲ要シタルカ故ニ其ノ幾分ヲ償ハンカタメ本會了ルノ後ト雖更ニ此ノ會場ヲ使用スルノ談判ヲ遂クルニ必要ナル權利ヲ委任セラレサル可カラス

該件ニ付キテハ政府ヨリ千八百五十一年設置ノ會場ハ後來他ノ博覽會ニ使用スルニ於テ尚三年間延期スヘキ旨ノ照會ヲ得タリ此ノ事ヲ報道スルニ至ルハ常務委員ノ滿足ニ堪ヘサル所ナリ

果シテ前議ヲ實行スルニ於テハ皇太子ノ准許ヲ經テ更ニ有益ナル大博覽會ヲ三ケ年間毎年開設スルノ美舉ヲ見ルヲ得ルハ予等ノ確信スル所ナリ然ルトハ皇太子ノ命スヘキ右博覽會事務擔當員ハ本會場ノ借主トナリ會場使用料ヲ納メ會場設立ノ原費償却ニ充ツヘシ

會頭ビルクベルク曰ク本會開場以來縱覽人ノ多キニ依リテ察スルニ本會ノ事業ハ最公衆ノ希望ニ副ヒタルヲ証スルニ足ル豈賀セサルヲ得ンヤ此ノ後殊ニ九月中ハ一層縱覽人ノ數ヲ增加スヘシ而シテ府外住民ノ來觀スル者多キハ蓋鐵道會社ニ於テ協議ノ上別仕立ノ汽車ヲ發シ減價ヲ以テ倫敦ヘ通行ノ便ヲ開キタルニ依ル又本會ニ於テモ一時百人以上ノ縱覽人ヘハ特別ノ詮議ヲ以テ入場料ヲ減省スルヿニ決セリ本會ニ於テ電氣燈ヲ使用シタルハ大ニ成功ヲ補助シタリト云フヘシ其ノ費用ハ頗ル大ナリト雖委員ニ於テハ成ルヘク節減ヲ加ヘ之ヲ設置セリ蓋午後六時ヨリ更ニ縱覽人ノ多キヲ見ルハ電氣燈ノ効果ニ非スシテ何ソヤ本會ノ閉場ハ來ル十一月頃ナルヘシト諸新聞紙上ニ記載シタレトモ此ノ事ハ全ク委員ノ權内ニアレハ他日其ノ認許ヲ得テ確定公告スヘシ然レトモ縱覽人ノ陸續入場スル以上ハ尚之ヲ開設シ置クモ可ナルヘシ（中略）漁業上講議再開ノ議アリ「エヂンボロー」親王ノ起草ニ係ル論文ノ討論ハ延期シタレハ九月下旬又ハ十月上旬同親王倫敦ヘ暫時滯留セラルヽノ節ニ開クモ可ナリ又漁夫談話會ヲ催スヘシトノ動議アリ是モ九月下旬ニ開クノ約アリ審査官ノ報告モ追々出來スレハ官選事務官ト特別事務官トノ總會議ヲ開キ遠カラス出品者ヘ褒賞ヲ授與スルノ順序ニ至ルヘシ

其ノ他委員ノ演說アリテ解散セリ

來年開設スヘキ萬國博覽會ハ花草森林培養衞等ニ關スルモノニシテ此ノ儀ハ既ニ事務長官皇太子ノ准許ヲ經タリ

○氣象

○地理局報告

全國氣象摘要　晴雨計ハ前八時間ニ引續キ上昇セリ就中南部及ヒ東部ニ於テ甚シトス然レトモ最低ハ今尚本地ノ南東部ニ殘リ最高ハ北西部ニアリ○北風吹キ或ハ靜穩ニシテ天氣ハ一般ニ快晴且ツ寒冷ナレトモ本地ノ北西部ハ陰天ナリ○前廿四時間中九州ノ南部幷本地ノ北及ヒ西海岸ノ全部ハ雨又ハ雪降リ就中境ハ其量三十二ミリメートルヲ報セリ○温度ハ高知ニ於ケル八度ヨリ札幌ニ於ケル氷點下六度ノ間ヲ昇降セリ

全國氣象十一月廿八日　京都時午前六時東京時午前六時十六分　長崎時午前五時三十六分

測候所	晴雨計	風向	風力	雨量	温度	天氣
長崎	七六八			○	六	快晴
鹿兒島	七六八	北	一	八	五	晴
宮崎	七六八	北西	一	四	二	快晴
高知	七六八	北東	二	○	八	全
和歌山	七六八			○	四	全
廣島	七七〇	北	一	○	三	全
大坂	七六九			○	三	全
京都	七六九			○	○	全
下ノ關	七六八	東	一	二	七	全
境	七七〇	北	二	三三	七	曇
金澤	七七〇	東	一	四	一	全
岐阜	七六九			○	○	快晴
濱松	七六七	北西	二	○	五	全
沼津	七六六	東	一	○	六	晴
東京	七六八	北	一	○	四	全
新潟	七六九	北	一	六	四	曇
秋田	七七〇			九	九	雪
野蒜	七六九	北	一	四	○	晴
宮古	七六八			六	九	快晴
青森	七六九	南東	一	五	九	曇
函館	七六九	北	一	○	九	快晴
札幌	七六九	南	二	○	九	全

例言　晴雨計ハ佛厘ミリメートルヲ用フ○風向ハ眞方向ヲ示ス○風力ハ配方零ヨリ六ニ至ル（○ハ靜穩一ハ軟風二ハ和風三ハ疾風四ハ強風五ハ暴風六ハ颶風）ヲ示ス○雨量ハ前二十四時間ノ量ヲ佛厘ミリメートルヲ以テ示ス○温度ハ蔭所ニ於テ攝氏ノ度ニ從フ（氷點ハ○氷點上ノ十及二十度ハ一〇及二〇氷點下ノ十及二十度ハ九〇及八〇）

○海軍觀象臺報告

十一月廿八日	午前三時	午後九時	午後三時
風雨鍼	英寸（インチ）	三十寸一八五	三十寸二五二	三十寸二二七
寒暑鍼	華氏	四十三度五	四十四度八	五十度〇
濕氣 一ヨリ百ニ至ル		七十三	六十四	五十三
風 方位 八點ニ區分ス		北	北	北東
風 速力	英里（イル）	五里	八里	十一里

第 127 号　本文

天候　陰部一ヨリ十二至ル　曇　陰部十　快晴　陰部一　快晴　陰部一

記事

寒暑鍼（高極五十度七　低極三十七度一）（午前零時ヨリ午後二時ニ至ル間ノ實驗）

天候ハ昨午後二時後雲天同夜九時頃暫時疎雨シ後尚曇天今午前五時頃ヨリ漸々晴ヲ催シ遂ニ快晴ス風ハ昨午後方位尚北々西中夜ニ至リテ北ニ順轉ス速力ハ同三時ヨリ六時ニ至ルノ間ハ僅ニ一里强爾後風力稍加ハリ今午前十時ニ至ル每時平均ハ約八里同時ヨリ方位漸々北東ニ移轉ス風雨鍼ハ僅々上昇ス

○廣告

○版權書目廣告

西暦一千八百八十三年獨國刊行
原題名エレメンテデルパトロギー
病理原論　中本壹册　原著　リントフライシュ　譯　伊藤錠五郎　出版　全　柴田承桂　東京

西暦一千八百八十年改刻
原題名シヨルジカルアナトミー
別外科解剖　中本五册　原著　英國　ベルラミー　譯並ニ出版　增本眞次郎　若梨健吉　全

西暦一千八百八十年肇動刊行
原題名エングリシチゼン
英國政治全書　一名英人ノ權利義務　中本廿六册　原著　英國　トレール等　譯述出版　佐藤雋吉　漆間眞學　全

右本日版權ヲ免許ス

明治十六年十一月廿七日　内務省

○公告

一職獵免狀　第四萬四千九百拾七號

埼玉縣下武藏國入間郡上谷村原金十郎所持之處本月遺失

右屆出候條拾得候者ハ速ニ管廳ヘ可屆出事

明治十六年十一月廿九日　農務局

○郵便沒書廣告（十一月廿一日分）

○てめや宛鹽谷○茅場町九番地松坂屋およね宛神田そば○本町馬喰町壹番地大坂屋龜三郎宛勢州太田龜三郎○甲州街道金子村金龍寺宛東京和壽亭○廣島細工町宮崎好造宛木村辰之助○福井縣越前國形山村牧野茂左衞門宛山口縣下ノ關小新造茂吉○大分縣豐前國宇佐郡高村岡田文藏宛万德丸新藏○德島縣河波ノ國高見町御苗多吉宛佐藤佐吉

（十一月廿二日仝廿三日分）

○東京本郷區本町三丁目九番地中村彌三郎方伊藤宗持宛西京松村○大坂北久宝寺町一丁目四十五番地高田吉兵衞宛西京久保田豐吉○高島ニテ石兼米作宛松原新太郎○相金宛松永○西京大宮通リ八條上ル町淺田喜兵衞宛谷垣たつヨリ○藤原卯助宛永田卯七

右心當リノ者ハ爲受取驛遞局ヘ罷出候歟又ハ書狀ヲ以テ申越候樣可致事

明治十六年十一月廿九日　驛遞局

○郵便船出發廣告

本日シチー、オフ、トウキヤウ號ヲ以テ香港ヘノ郵便物締切時限

府下郵便局　書留郵便物ハ午後三時半並郵便物ハ午後四時半

驛遞本局　書留郵便物ハ午後四時半並郵便物ハ午後五時半

横濱郵便局　書留郵便物ハ午後八時並郵便物ハ午後八時

十二月二日午前十時本局締切小菅丸ヲ以テ函館小樽ヘ向ケ郵便差立候事

明治十六年十一月廿九日　驛遞局